
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 132 号(2023.12.27)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第132号をお届けします。

第 132 号の目次

1. 活動組織の活動紹介

たもいん ☆多門院 地区活動組織 (京都府 まいづる 舞鶴市) ☆

自治会や子供会など、地区内の全ての組織が活動に参加しています！また、60年ほど前に
廃れていた、豊作を祈願する伝統行事「稲の虫送り」を復活させました！

たのうえ ☆田ノ上 環境保全会 (宮崎県 みやざき 宮崎市 さどわらちよう 佐土原町) ☆

環境保全アドバイザーを講師に招き、こども会と連携して野鳥や生き物調査を行うことで、
地域にある自然や生態系を身近に感じてもらえるよう工夫しています！

2. 代表者等へのインタビュー

☆ (広域) アグリカルチャー浮田 (岡山県 うきた 岡山市) ☆

交付金のことを知っているが、手続きの大変さに対して身構えて活用していない集落に出
向いて、活動の推進、交付金の普及を行っている代表者に、インタビューを行いました！

3. 活動組織の広報誌紹介

☆東部環境整備団体 (香川県 きたぐんみきちよう 木田郡 三木町) ☆

毎年度の活動の決算概要を掲載することにより、活動内容や事務処理に対して透明性を確
保しています！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～^{たもいん}多門院 地区活動組織(京都府^{まいづるし}舞鶴市)～ ■

～ 地区概要 ～

京都府北部舞鶴市の東端に位置する自然環境に恵まれた農村地域で、小字4集落合同で活動しています。

活動範囲は、田17.7ha、畑0.42ha、農道7.6km、水路8.7kmで、農地維持活動及び資源向上活動に取り組んでいます。

～ 主な取組 ～

- ◎ 農業者の高齢化や若者の地区外転出等、担い手不足による荒廃農地の増加に危機感を感じ、平成24年度から本交付金の活動を開始しました。自治会や子供会、消防団など地区内の全ての組織に参画してもらっています。
- ◎ 若い世代に地域へ愛着を持ち、守って欲しいという思いから、平成25年、地域の老人会と協力して、60年程前に廃れていた伝統行事「稲の虫送り」を復活させました。大人から子どもまで、みんなで松明を手に地域内を練り歩き、松明の明かりで稲の害虫を追いやり、毎年豊作を祈願しています。参加した子どもからは「とても楽しかった。これからもずっと続けたい。」との声も聞かれ、地域への“誇り”と“愛着”が育っているのを実感しています。
- ◎ こうした共同活動を通じて、世代間の隔たりや、農業者と非農業者の枠を超えてお互いの理解が深まっています。次世代の子どもたちに引き継げるよう、今後も地域みんなで地域資源を守っていきます。

共同活動（水路の泥上げ）



「稲の虫送り」の松明作り



伝統行事「稲の虫送り」



資源向上活動
(桜や紅葉の植樹祭)



【京都府中丹広域振興局地域づくり振興課】

編集担当 SDGs コメント

自治会や子供会、消防団など地区内の農業者以外の団体も運営等に参画されており、復活させた「稲の虫送り」が農村文化に関する伝統行事であることから目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献する活動を積極的に行われています。また、「稲の虫送り」復活は老人会も協力されており、子供たちも当該行事に参加していることから、老若男女問わず活躍できる環境が整えられている点で、目標 3（やすらぎや福祉の機会を提供する）にも貢献しています。

参加した子供たちが喜びの声を上げていることから、地域の皆さんの協力し合う姿が良い影響を与えているのだと思います。今後も「稲の虫送り」等の様々な方が参画できる活動を通じて、地域の皆さんがより“誇り”と“愛着”を持てる地域となることを応援しています！



■1. 活動組織の活動紹介（2）～^{たのうえ}田ノ上環境保全会（宮崎県^{みやざき}宮崎市^{さどわらちやう}佐土原町）～

～地区概要～

宮崎県宮崎市の北部、旧佐土原町の平野部で活動しています。活動内容は田25ha、畑9ha、水路8.3km、農道4.5kmです。江戸時代頃から栽培されている伝統野菜「佐土原なす」を始め、生姜、マンゴー、ピーマンなどを栽培しています。

～主な取組～

- ◎ 地域の子どもたちやその親の世代が、地域の自然・農業とふれあい、学べる機会を作ること、地域と協働した農村環境保全活動を行っています。
- ◎ 宮崎県環境保全アドバイザーを講師に招き、子供会と連携して、実際に田畑や河川に繰り出して野鳥や生き物調査を行うことで、地域にある自然や生態系を身近に感じてもらえるよう工夫しています。
- ◎ 耕作放棄地や休耕地に子供会や地域住民と共同でコスモスの播種を行い、景観形成に努めています。
- ◎ 今後も、このような取組みを通じて、地域の自然や生態系への理解を深め、地域住民と一体となった元気な農村づくり活動を進めていきます。

【田ノ上環境保全会 会長：青木幸雄】

編集担当 SDGs コメント

農地回りの自然や生態系を調査することで目標15（地域における生物多様性を保全する。）に貢献しています。また、地域住民と一体となって、農地の維持管理や農村環境の保全に取り組むことで目標2（持続可能な農業を支える。）に貢献しています。

子どもたちと一緒に地域の自然や生態系への理解を深め、さらに地域協働で元気な農村づくりを進めていくことを応援しています！



講師による野鳥の説明の様子



水生生物調査の様子



野鳥観察の様子



コスモス観察の様子

■2. 活動組織の代表者へのインタビュー ～(広域)アグリカルチャー淳田(岡山県岡山市)～■

～ インタビュー ～

組織の概要

活動範囲：田103ha、畑51ha
対象施設：水路50.8km 農道23.3km
活動開始時期：平成27年度

Q：組織の立ち上げについて教えてください。

A：平成26年度に、当時の市役所に農林水産省から出向してきたNさんが、熱心に説明してくれました。その説明を受けて、5つの集落へ出向き、広域組織として本制度の取組に至ったのがきっかけです。

Q：役員として心がけている事を教えてください。

A：基本的に、集落ではほとんどが顔見知りですが、地区の役員会には出席し、できる限り話し合いをまとめられるようにしています。役員会などで、疑問等があれば、納得できるまで説明へ出向いています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：地元の小学校と連携して、遊休農地を活用して「学習田」に取り組んでいます。小学校5年生を対象に田植えから稲刈りまで行い、「自分で作ったお米でおにぎりにして食べる。」といった農業体験活動を実施しています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：この交付金がなければ、農地の維持は難しいと思っています。制度は知っていても「手続きが難しいのでは。」と身構えている集落に出向いて推進も行っている。出来れば、この交付金を他の集落でも活用して欲しいと思っています。



会長の尾崎さん



「学習田」の様子



活動の看板

編集担当 SDGs コメント 

遊休農地を活用した「学習田」の活動は、地元の小学校と連携し、子ども達も参加し、地域の農業や環境保全に関する教育の場となっており、目標4（地域内外の人に質の高い生涯学習の機会を提供する。）等に貢献しています。

今後もこの活動を継続していただきたいです！



【中国四国農政局農村振興部農地整備課】

■ 2. 活動組織の広報誌紹介 ～東部環境整備団体(香川県 木田郡 三木町)～

広報誌・自治会だよりの概要

地域の活動をまとめた「広報誌」を年に1回(10月)に発行し、活動組織の構成員を中心に配布しています。

また、非農家の方にも周知するために、土地改良区の広報誌と一緒に配布を行っています。

多面的機能交付金をどのように活用し、どのような活動をしているのか、透明性を図るために構成員以外の方にも把握してもらえるように写真や交付金の使途について掲載しています。

～工夫しているポイント～

- ポイント1：前年度決算の内訳を広報誌にて公表し、交付金の使途を明確にすることで、組織運営の透明化を図っています。
- ポイント2：構成員以外の方にも多面的機能支払交付金の制度を知ってもらうために、制度の内容を簡潔に掲載しています。
- ポイント3：活動状況を文字や数値だけでなく、写真も掲載することで活動内容を周知しています。

ポイント1 決算・予算の公表による組織運営の透明化！

毎年6月に開かれる通常総会の議題である、前年度決算の内訳を広報誌にて公表しています。交付金の使途を明確にすることで、組織運営の透明化を図っています。

三木町東部環境整備団体活動報告(令和3年度)

令和4年10月15日発行

三木町東部環境整備団体
代表 菅西 茂知

1. 団体の設立

農業・農村は国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的な機能を有し、その利益は農業に携わる人や農村に住む人だけでなく広く国民が享受しています。しかし、近年農村地帯の高齢化や過疎化、道化等が進展して集落機能が低下し、地域の共同活動により支えられているこれらの機能の維持や発展に支障が生じており、農用池や水路、農道などの地域資源を保全管理する担い手農家の負担も増加しています。このため、国では農業・農村の有する多面的な機能を維持し発展していく地域の共同活動に対する支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するための交付金を平成19年度に創設し、認定された団体が策定した活動計画に基づき、県及び市(町)が財源を全て負担する多面的機能支払交付金の事業を推進しています。

三木町東部環境整備団体は、この交付金を活用し水田二股土地改良区(以下、「土地改良区」という。)が管理するため池や水路などの施設の適正な維持管理を目的として平成19年度に設立し、現在、令和3年度から5年間の活動計画に基づき交付金による活動を実施しています。

2. 団体の構成員

この団体は、土地改良区の水路の泥上げに参加している住民等380名を構成員として代表1名、副代表、会計各2名、監査役4名など合計26名で役員会を組織し、交付金活動に必要な事項について協議し決定しています。なお、役員の高齢化が進んでいるため若い方の参加をお願いしています。

3. 多面的機能支払交付金事業の内容

この交付金の活動内容及びこの団体が行っている活動は下記のとおりですが、アとウの活動はセットで行う必要があります。活動に参加した場合は交付金から日当のほか準刈機や燃料トラックなどの機械借り上げ料をお支払いしています。又、水田など施設の更新を土地改良事業で実施する場合は交付金が必要ですが、工の施設の長寿命化のための活動を実施する場合は金額が交付金で対応できません(原則、1工年20.0万円の間限があります)。又、各活動にできる限り多くの構成員に参加していただくよう(毎月3年10月からの日当については1時間50.0円から8.0円に、準刈機や燃料トラックなどの借り上げ料については2~3割それぞれ値上げをしています)。

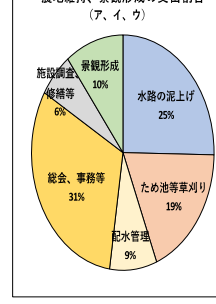
交付金名	活動項目	具体的活動	この団体がやっている活動
多面的機能支払	ア 農地維持	地域資源の基礎的な保全活動	水路の準刈り、水路の泥上げ、施設の高橋、水路の準刈り、水路の泥上げ、ため池の準刈り、ため池の泥上げ
	イ 地域資源の基礎的な保全管理のための推進活動	地域の体形拡充・強化、保全管理情報の作成 等	農業者、地域住民等が担う共同利用施設の保全管理、地域住民等への農用地等の保全管理に関するアンケート調査
	ウ 農道向上	地域資源の質的向上を図る共同活動	水路等施設の状態診断、軽微な修繕等
	エ 施設の高寿命化のための活動	植栽などによる農村環境保全活動	プランター花卉設置、休耕田の植栽、水源の水質検査 等
		老朽化した水路や水門等の修繕・更新工事	(外注、監査)

4. 令和3年度決算の概要

この交付金の令和3年度の取組状況は下表のとおりです。なお、アとウの活動とエの活動は別会計で処理する必要があります。収入のうち前年度繰越額は、(ア、イ、ウ)では新規コボロボ染病防止のため池を普請済としたほか修繕や改修を中止したことで30%の増、(エ)の長寿命化は2年度に施工を予定していた熊田水路更新の工事費が不足し3年度に繰越したため2年度の2万円から20万円に大幅に増加しました。支出のうち(ア、イ、ウ)は9月までに活動がほぼ完了した水路の泥上げや配水管等の増減は少ない一方10月から日当、賃金、機械等借り上げ料をアップしたことでため池の準刈りや事務経理等は30%以上増加し、又準刈機の修繕や差し換の更新等がなかったため年度経費総額が3.2%増加しました。長寿命化では、農道と二股の水路の更新のほか直営施工で天溝や二股の水路を更新したことなどにより前年度の2倍を超える大幅な増となりました。

機能	収入の内訳			支出の内訳				
	内訳	金額(円)	増減(%)	活動内容	内訳	金額(円)	計(円)	増減(%)
ア イ ウ	前年度交付金繰越額	3,979,197	30.7	水路の泥上げ	日当	809,250	1,430,588	6.9
	令和3年度	6,282,888	1.3		機械等借り上げ	141,400		
	交付金	567,260	0.8		残土処分	421,300		
	計	6,850,148	0.1	その他	58,638			
	計	10,829,345	9.5	ため池、水路、農道の準刈り (二股上池、二股下池、熊田池、熊田池、次郎兵衛池、熊田池)	日当	524,300	1,057,621	35.0
前年度交付金繰越額	2,028,648	9,577.7	機械等借り上げ		447,938			
令和3年度	4,866,340	-2.8	機械購入費		0			
交付金	431,652	-3.9	その他	85,383				
	計	5,297,992	-2.9	配水管管理(ため池5カ所)	日当	221,800	474,700	-1.0
	計	7,326,640	33.8	高水分水工、水井	機械等借り上げ	252,900		
	合計	18,155,985	18.2		日当、報酬、賃金	1,292,100	1,766,382	32.4
エ	小計	総会、研修、事務処理、報酬等	コピー使用料等	293,636				
			その他	180,646				
			日当	139,450				
ウ	施設点検、調査、修繕等	景観形成(熊田池、二股池等)のラフターの植栽、休耕田の草花等植栽など	日当	68,821	348,955	-71.1		
			修繕、運賃委託等	136,950				
			その他	3,734				
ア イ ウ	小計	日当、報酬、賃金	日当	208,628	5,661,616	-4.2		
			機械等借り上げ	289,748				
			残土処分	84,997				
エ	経理金	熊田池、熊田池、熊田池、熊田池、熊田池	日当	1,494,443	5,251,549	32.0		
			残土処分	558,250				
			機器等購入費	0				
	計	7,326,640	33.8	その他	413,398			
	合計	18,239,805	18.7		計	10,913,163		10.4
				工事、設計・事務等	外注工事、設計等	6,574,700	7,111,081	206.3
				経理金	日当、普請工事等	536,381	215,559	-89.4
				計	計	7,326,640	18,239,805	33.8

農地維持・景観形成の支出割合(ア、イ、ウ)



ポイント2 多面的機能支払交付金の制度内容を掲載。

多面的機能支払交付金の制度について、構成員以外の方にも把握してもらうために、制度の概要を掲載しています。

ポイント3 前年度の活動写真を使用し、活動内容を周知。

活動状況を文字や数値だけでなく、写真を掲載することで活動内容を周知しています。

令和3年度多面的機能支払交付金事業の活動状況



施設の長寿命化 請負工事(二条水路更新工事)



■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。

早いもので、もうすぐ2023年が終わりそうですね。皆様にとってこの1年はどんな年でしたか？私は、大学生から社会人となり、大きく変化した年でした。今までとは全く異なる環境で戸惑うこともありましたが、新しく学ぶことも多く、充実した1年となりました。年末は久しぶりに実家に帰って、家族とのんびり過ごしたいと思います。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。今年もメルマガを読んでいただきありがとうございました。来年もどうぞよろしく願いいたします。



◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/houson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線5493）